

KANAGAWA



一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

2013 年
7 月号

VOL.381



オフィシャルウェブサイト (会員ページ) 情報

○会報KANAGAWAをフルカラーにて
掲載中

○会員ページへは会員番号でログイン
してください



目 次

①② 建物探訪

③ 会員作品紹介

④ 歴史的建造物を訪れて

⑤⑥ シリーズ
町並み散策 ぶらりin 神奈川

⑦ 新任支部長ご紹介

⑧ 委員会活動報告(木造特別委員会)

⑨ 委員会活動報告(景観まちづくり特別委員会)
委員会活動報告(広報情報委員会)

⑩ 事務局便り
編集後記

表4 ウォーキング実施報告

建築探訪

こだわりの酒造り・酒友館を訪ねる

海老名支部 小松 正道

海老名市下今泉の泉橋酒造構内にある「酒友館（しゅゆうかん）」は江戸・明治期は、地元で収穫されたお酒にするためのお米を大切にしまっておく土蔵でしたが、大正12年9月（1923年）の関東大震災で倒壊してしまいました。この震災は丁度秋の収穫が始まる少し前のお米の貯えがあまりない時期に起きたようで、当時倒壊したこの土蔵からお米をかき出しながら、炊き出しに供したという話が残っています。土蔵は昭和10年（1935年）に再建され、その後、平成8年（1996年）に今の形に改装し、泉橋酒造のお酒の試飲や販売のスペースとして利用されています。

酒友館の由来は、泉橋酒造創業者の「友八翁」の名前から1文字取って、お酒の縁で友達が増えればと云った意味から命名したとか。同蔵元の製品が並び、季節ごとに様々なタイプの純米酒が紹介されていて、さらにカウンターで試飲も楽しめるとあって、土曜日になるとたくさんのお客さんと賑わっています。

に現在の場所で創業しました。以来変わらず、150有余年の歴史を誇ります。

同蔵元は、地元海老名市や座間市の農家と「さがみ酒米研究会」を組織し、地元で酒造好適米として有名な「山田錦（やまだにしき）」を中心に使用した酒造りを行っていて、銘柄「いづみ橋」や「赤とんぼ」は神奈川の地酒として親しまれています。お米の栽培から醸造まで一貫して行う栽培醸造蔵として全国でも珍しい存在です。首都圏に位置する神奈川県海老名市は、都市と農業がうまく調和するまちとして有名ですが、ある意味地価の高い場所での農業はいろいろと苦労もあるようです。しかしながら、この酒蔵の存在は、海老名の田園風景を生み出すために一役買ってくれています。



試飲を楽しめるカウンター

海老名の地は、丹沢山系から流れ出る相模川の作った沖積平野に古代より耕地が拓かれた場所で古くは相模の國の国分寺なども置かれた場所です。その土地で泉橋酒造は、地元で栽培される豊かなお米を背景に江戸・安政4年（1857年）



正面から見た仕込み蔵



酒造りは米作りから

秋から翌年の春まで約半年の間、社員が交代で泊まり込みながら仕込みを行っていて、純米酒（純米大吟醸、純米吟醸を含む）のみを醸造し、アルコールなどの添加は一切行わない、という信念のある蔵元としても有名です。



北側から見た仕込み蔵

蔵には相当長い年月が経っているであろう大きな木々があり、付近のランドマークになっています。この仕込み蔵は、木造の酒蔵が関東大震災で倒壊した苦労や経験から、昭和40年代に鉄骨造りの建て替えたものでその後、毎年のように改修を加えながら現在に至っているようです。昨年塗りなおしたばかりの白壁が美しく輝いていました。

泉橋酒造は、秋に空を飛ぶ「赤とんぼ」を蔵のシンボルとしてラベルなどに使用しています。この赤とんぼは、米作りの農業の世界では、害虫とされる虫を食べてくれる益虫とされています。同蔵元では、そんな赤とんぼなどの自然の循環を大切に無農薬・減農薬栽培を行って米作りを行っていて同蔵元は「お酒はお客様の口にするもの。だから、米作りからこだわらないといけない。」と仰います。「酒造りは米作りから」という言葉がこの酒蔵の信念となっています。



自慢の銘柄がずらり

表紙のことば

【表紙写真（左上）】ずらりと並んだ酒樽。ここから神奈川の銘酒が生まれている。

【表紙写真（右）】「酒友館」の外観。城の外壁にも使われている白の漆喰塗りで重厚な佇まい。その内部は、泉橋酒造ファンのみならず、農家や酒屋の方も集まる和やかなコミュニティースペースとなっている。

【表紙写真（左下）】丹精込めて仕込みを行う職人さん。この努力が珠玉の一滴を作り出す。

【施設概要】

泉橋酒造株式会社（いづみباشしゅぞう）

代表者：橋場 友一（6代目）

住 所：神奈川県海老名市下今泉5-5-1

電 話：046-231-1338

F A X：046-233-1452

U R L： <http://www.izumibashi.com>

定休日：日曜・祭日

会員建築作品紹介

すぎのこ保育園（川崎市麻生区）

川崎支部 有限会社上原建築設計事務所



▲【南側外観】

幕板部分に貼られた杉板と、バルコニーを支えるV字形の列柱は訪れる人を迎える保育園の「顔」となっている

▼【ホールより玄関側を見る】

吹抜けに面して、自然の風合いを残した杉板が貼られ、ホールを印象深い空間としている。また、一部が円形である開放的な事務室は建物全体を見渡せる位置にある。



▲【2階廊下】

吹抜けホールに面した廊下にはいくつかの本棚と絵本スペースが設けられ、広めの廊下と共に子供の遊ぶスペースとして使われるように計画した。



▲【ランチルーム】

天井の高い開放的な空間とすることで、子供がのびのびと遊び、食事をする場所を計画した。梁からは既存の園舎で使われていた照明器具を吊るしている。



▲【2階保育室】

勾配天井に梁を現しで架けており、木造の空間を強く主張している。また、建具を開放することで複数の保育室を一体で利用することが可能である。

すぎのこ保育園は「昼間の家づくり」という言葉をコンセプトに設計された木造の保育園です。吹き抜けのあるホールを中心として各階南側に保育室を配置し、子供と大人が常に気配を感じあえるような、温かな関係性がつくられる空間を目指しました。また、1階中央に面した開放的な事務室は、保護者・子供・保育士の柔らかな結びつきの象徴であり、極力死角をつくらないという安全性を担保する工夫でもあります。また、同場所に建っていた旧園舎も木造の建物で、丸柱や大きな梁の見える空間があり、保育園に携わる多くの人々からはその記憶を留めることに強い思い入れを感じました。その想いを受け、本建物は告示（昭和62年建告1901,2号）の燃えしろ設計を採用した1時間の準耐火建築物としており、ホールの丸柱や保育室の大梁など、木の躯体を現しに見せるよう計画してあります。

設計を担当した当事務所としては、今後この保育園が、児童・保護者をはじめ、保育士の方々、地域の皆様に永く愛され続けることを願っています。

子供たちが安心して 過ごせる昼間の家作り

構造：木造2階建

敷地面積：967.98 m²

延床面積：680.28 m²

建築面積：497.35 m²

～歴史的建造物を訪れて～

Vol.59

～神奈川県立近代美術館鎌倉館～

横須賀支部 小泉 厚

小学校低学年の頃、楽しいお正月の行事といえば「初詣」。鎌倉に近いこともあり、鶴岡八幡宮には毎年のように親戚一同で参拝に出かけていました。混雑する若宮大路を背伸びしながら見上げると、小高い緑の中に**三角形の社殿**の屋根が見え、混雑を楽しみながらも早く到着したいという子供心を覚えています。太鼓橋を駆け上がり、参拝をすませたの帰り道、当時は蓮とスッポンの池として覚えていた平家池の中に、何故、**白い四角い箱**が浮いているのかという不思議な思いがありました。



平家池に浮かんだ美術館

神奈川県立美術館は戦後の1951年（昭和26年）日本で最初の近代美術館として開館しました。この計画は戦後の混乱期に「荒廃した社会を復興するには人々の心のよりどころとなる場所が必要である。」と当時の神奈川県知事内山岩太郎の決意のもと、建築家吉田五十八を審査委員長とした、5人の建築家（山下寿郎、坂倉準三、谷口吉郎、前川國男、吉村順三というそうそうたる日本建築会の巨匠）による指名コンペの結果、坂倉準三が選ばれ、ニューヨーク・パリに続く世界三番目の近代美術館として建てられました。

建物形状は中庭を囲む口の字型で、アスベストボード



美術館正面



雨の中庭

とアルミの金物で構成された白い直方体の箱を1階の鉄骨と大谷石の壁で支える構成となっています。

発券所の1階から正面階段を上が中庭から階段越しにピロティを眺めるり、2階の2つ展示室、カフェ、ミュージアムショップを廻って中庭上部のみに開放されている2階から1階に下りると、平家池の緑豊かな外部空間を取り入れたピロティ空間、そして振り返るとイサムノグチの彫刻「こけし」のある人工的な中庭が空間的にほどよい関係を生み出しています。コルビュジエの五原則におけるピロティもここでは何故か、自然との対応の仕方から桂離宮など日本の伝統的な建築空間として読み取れます。



平家池に面した自然を取り入れたピロティ空間

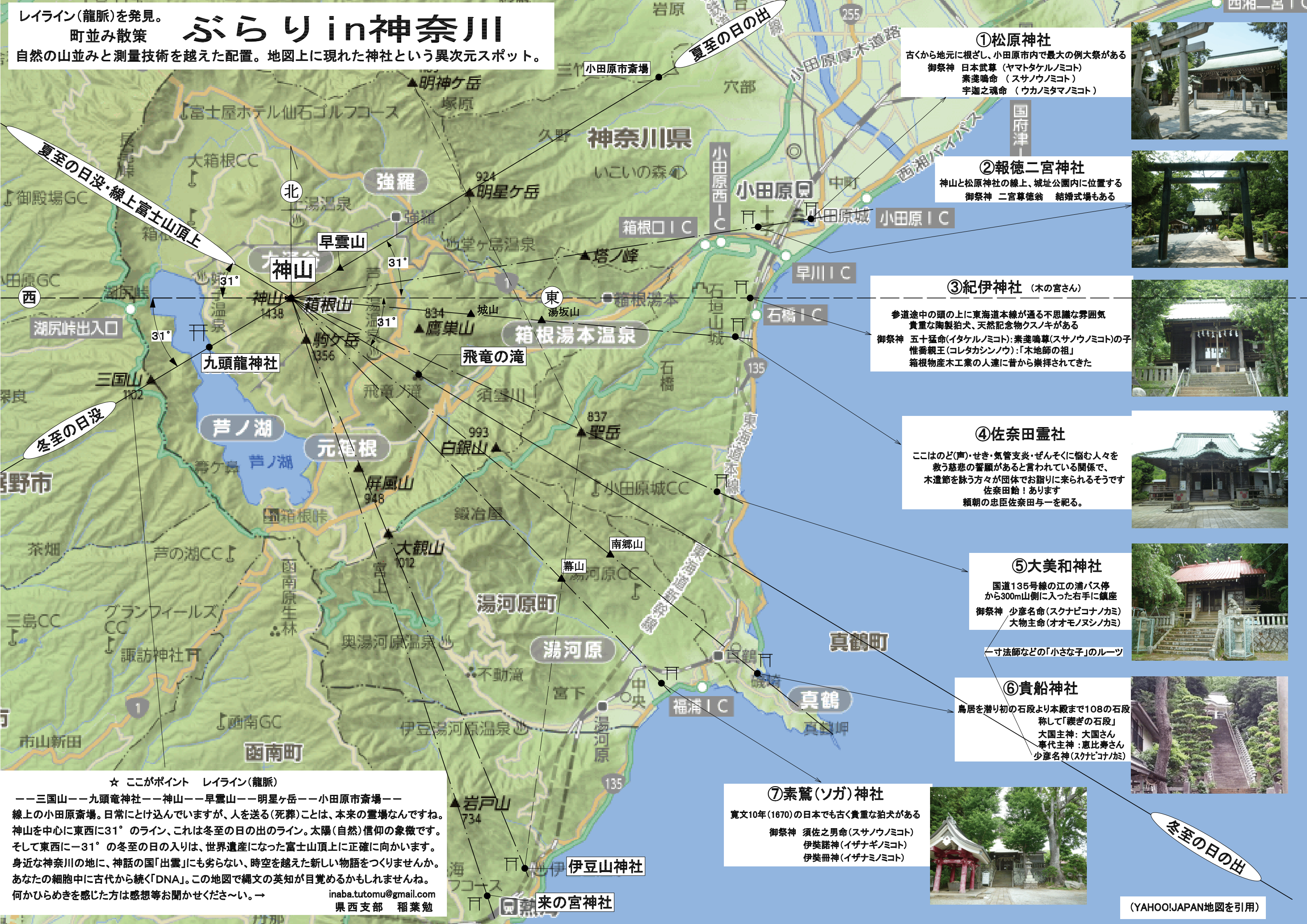
現在、鶴岡八幡宮の敷地に立つ鎌倉館は土地の賃借契約が2016年3月31日で切れ、(65年の歴史)八幡宮と交わした契約書に変換時には更地にすることが明記されており、県は緊急財政政策の一環として契約更新を行わない方針を決めています。2016年で閉館が決まる予定ですが、今後この価値ある建物が再利用または再活用されることを望みます。

レイライン(龍脈)を発見。

町並み散策

自然の山並みと測量技術を越えた配置。地図上に現れた神社という異次元スポット。

ぶらりin神奈川



①松原神社

古くから地元に根ざし、小田原市内で最大の例大祭がある
御祭神 日本武尊 (ヤマトタケルノミコト)
素戔鳴命 (スサノヲノミコト)
宇迦之魂命 (ウカノミタマノミコト)



②報徳二宮神社

神山と松原神社の線上、城址公園内に位置する
御祭神 二宮尊徳翁 結婚式場もある



③紀伊神社 (木の宮さん)

参道途中の頭の上に東海道本線が通る不思議な雰囲気
貴重な陶製狛犬、天然記念物クスノキがある
御祭神 五十猛命(イタケルノミコト):素戔鳴尊(スサノヲノミコト)の子
惟喬親王(コレタカシノウ):「木地師の祖」
箱根物産木工業の人達に昔から崇拝されてきた



④佐奈田霊社

ここはのど(声)・せき・気管支炎・ぜんそくに悩む人々を
救う慈悲の誓願があるとされている関係で、
木遣節を詠う方々が団体で詣りに来られるそうです
佐奈田鮎! あります
頼朝の忠臣佐奈田与一を祀る。



⑤大美和神社

国道135号線の江の浦バス停
から300m山側に入った右手に鎮座
御祭神 少彦名命(スクナヒコナノカミ)
大物主命(オオモノヌシノカミ)



一寸法師などの「小さな子」のルーツ

⑥貴船神社

鳥居を潜り初めの石段より本殿まで108の石段
称して「裸ぎの石段」
大国主神: 大国さん
事代主神: 恵比寿さん
少彦名神(スクナヒコナノカミ)



⑦素鷲(ソガ)神社

寛文10年(1670)の日本でも古く貴重な狛犬がある
御祭神 須佐之男命(スサノヲノミコト)
伊弉諾神(イザナギノミコト)
伊弉册神(イザナミノミコト)



冬至の日の出

(YAHOO!JAPAN地図を引用)

☆ ここがポイント レイライン(龍脈)

——三国山——九頭竜神社——神山——早雲山——明星ヶ岳——小田原市斎場——
線上の小田原斎場。日常にとけ込んでいますが、人を送る(死葬)ことは、本来の霊場なんですね。
神山を中心に東西に31° のライン、これは冬至の日の出のライン。太陽(自然)信仰の象徴です。
そして東西に-31° の冬至の日の入りは、世界遺産になった富士山頂上に正確に向かいます。
身近な神奈川の地に、神話の国「出雲」にも劣らない、時空を越えた新しい物語をつくりませんか。
あなたの細胞中に古代から続く「DNA」。この地図で縄文の英知が目覚めるかもしれませんね。
何かひらめきを感じた方は感想等お聞かせください。→

inaba.tutomu@gmail.com
県西支部 稲葉勉

平成25・26年度支部長のご紹介

平成25・26年度支部長として下記の17名の方々が就任されました。今回、続投の方、新任の方がいらっしゃる中で、新任支部長の皆様にアンケートをお願いし、5名の方にご回答をいただきましたので合わせてご紹介します。

平成25・26年度支部長一覧							
横浜	小渡佳代子	川崎	田辺真一郎	横須賀	増田 務	湘南三浦	内藤 隆之
藤沢	端山 正明	鎌倉	梅澤 典雄	茅ヶ崎寒川	青木 徳幸	平塚	齋藤 清
秦野	山本 敏夫	伊勢原	藤川 好一	大和綾瀬	相原 聰	厚木	菅沼 浩一
座間	谷田 康司	海老名	加藤 昌義	愛川	荻田 孝男	相模原	西倉 哲夫
県西	小林 幸一						
							以上17支部

＜新任支部長アンケート＞①支部名 ②お名前 ③支部長就任についての意気込み

④神事協に望むこと ⑤ご自身のPRについてご回答をお願いしました！



①湘南三浦支部 ②内藤 隆之（ないとう たかゆき） ③3名の副支部長、5名の部会長と共に活力ある支部運営に努めてまいります。 ④会員あっての、又は支部あっての神事協ですので、個々の支部の特色を尊重していただきたい。 ⑤なにかとネガティブなところがありますが、任期中はポジティブに進んでまいります。



①大和綾瀬支部 ②相原 聡（あいはら さとし） ③会員を主体とした支部活動の活性化を目指します。 ④メディアを利用して知名度を上げるような活動を希望します。 ⑤アマチュアオペラ歌手活動をつづけております。皆さん聴いてください。（事務局補足：相原支部長は三会合同賀詞交歓会のアトラクションとしてその歌声を披露して下さっています。）



①厚木支部 ②菅沼 浩一（すがぬま ひろかず） ③組織の長になった経験に乏しく、頼り甲斐のない支部長になるかな。人生の1ステップとしてやっていきます。 ④事業・イベント・研修会等の開催地の県内平均化を望みたい、会員人数比に従うのは仕方ないですね。 ⑤主に住宅の設計をやってます。いつまでこれで食べていけるかな。また、ボランティアで「介護ロボット」研究開発販売グループ「チームアトム」をアシストしています。趣味はウォーキングで、その目的は美味しいものを食べることです。2年間よろしくお願いします。



①海老名支部 ②加藤 昌義（かとう まさよし） ③7代目の支部長として、各事務所が更に研鑽を重ね、情報交換のみに止まらず、技量や力量を高め、協力し合える組織を目指します。結果として、高い参加・出席率に努めて行きたいと思います。④設計事務所の必要性や監理業務の重要性を支部レベルだけでなく、協会(本会)としても更にPRをしていただきたいです。 ⑤趣味：(1)剣道(健康のバロメーターとして次男と一緒に定期的に町道場通い) (2)社寺巡り 座右の銘：実るほど頭を垂れる稲穂かな 好きな言葉：礼節



①愛川支部 ②荻田 孝男（おぎた たかお） ③支部会員みんなの知識・技術の向上が図れるような事業を展開し、会員相互及び地域団体等とより一層の協力体制を整え、お互いに充実しあえる支部になれるように漸進いたします。 ④会員が抱えている小さな問題または深刻な問題等にも真剣に検討して解決策を講じていただきたい、また、少人数会員の支部が会員増強等のために行う事業も様々な面で応援をしていただきたいと希望いたします。 ⑤去年の10月に大型2輪（中古車）を購入いたしました。バイクに乗るのは30年ぶりです。これからも安全運転に努めます。

委員会活動報告 ～木造特別委員会～

台湾視察研修旅行について

このたび木造特別委員会では、当会賛助会員である株式会社カネシン社のご協力のもと、去る4月14日(日)～16日(火)の3日間、委員有志10名による台湾視察研修旅行を実施しました。

【1日目】

羽田空港より空路台北へ。小雨のなか台北松山空港へ到着し、蒋介石の座像が設置されている中正紀念堂に立ち寄った後、宿泊先のホテルへ。翌日の視察へ備え、この日は各自英気を養いました。



空港にて

【2日目】

今回のメインイベントであるカネシン社の現地協力企業の視察です。徒歩で台北駅へ向かい台湾新幹線で一路台南へ。カネシン社並びに現地企業の皆様にお出迎えをいただき、視察へ向け出発しました。今回訪れたのは、いろいろな要請に応えられるよう自社で金型を造りプレス加工する工場、どんな板厚にでも対応できる様に設備を整えたホーマー加工場、クロムフリーの新表面処理を施す工場の3企業です。我々が使用している金物がどのようにつくられ手元へ届



見学の様子

木造特別委員会 委員長 寺坂 良明



製造工程について説明を受ける



現地企業の皆さんと記念撮影

くのか、普段見ることができない工程を大変興味深く見学することができ、委員それぞれが通訳を介し現地企業の方へ質問をしていました。

【3日目】

帰国便が夕方のため、定番の観光スポットである忠烈祠や故宮博物院、また、商売の神様が祀られている行天宮をめくり無事帰国の途へ着きました。

今回の視察では、日本の技術も当然負けず劣らずのものが有るが、殆どが零細の町工場等の理由で設備投資ができず、量産体制を確保できない為、元気の良い台湾に土俵を渡していると感じました。

研修旅行の実施にあたり、準備段階より旅行終了まで多大なるご配慮とご協力をいただきました株式会社カネシン社夏目専務様、石原様並びに現地協力企業の皆様には心より感謝申し上げます。

委員会活動報告 ～景観・まちづくり特別委員会～

景観整備機構指定に向けての勉強会のご案内

景観・まちづくり特別委員会

先日各自治体からご回答頂いたアンケートの結果によると、現在神奈川県内のいくつかの自治体がまちづくりへの協力を求めており、また、景観整備機構の指定についても可能とのご回答を頂きました。それを踏まえ、当委員会としては当協会が景観整備機構の指定を受ける必要があると考え、会員へのご理解を求めると共に、その準備を進めているところです。

今回の勉強会で講師としてお招きした塩見寛氏は静岡県建築士会 景観整備機構副代表として景観まちづくりの実績が多数あります。具体例に当協会がどのように活動を進めているのが望ましいか、ご指南頂けるまたとない機会です。

ぜひ皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

【開催日時】

平成25年7月24日(水)

受付 13:30～ 講習 14:00～17:30

【会場】神奈川県建築士事務所協会

2F会議室(横浜市中区不老町3-12)

第3不二ビル 2F/TEL 045-228-0755)

【定員】

30名(先着申込み順。定員になり次第締め切ります)

【講師】静岡県建築士会 景観整備機構 副代表

塩見寛氏

【対象】会員(所員を含む)および賛助会員・

一般

【会費】会員(所員含む)および賛助会員

2,000円/人(資料代含む)

一般 2,500円/人(資料代含む)

委員会活動報告 ～広報情報委員会～

広報情報委員長 佐藤 光良

先月の第1回定時総会は、委員長として最後の仕事となりました。横浜支部選出理事として8年の長きにわたり活動してまいりました。最初は広報情報副委員長として、玉野委員長の指導の下に編集に携わりました。玉野委員長が退任された後を引き継ぎ、6年前から委員長として編集を手掛けてきました。委員の間で表紙のデザインコンペをし、より良い会報「KANAGAWA」にするべく委員間での活発な議論を通し、会員や他の読者に手に取って読んで貰えるように工夫を重ねて参りました。たまに「いい記事だったね。」と声を掛けて頂くことが一番嬉しいことでした。

記事が集まらなくて、委員の方々へご負担をお掛けしたことは幾度もありましたが、各委員は嫌な顔一つせずに引き受けて下さいました。又、建築作品のページの掲載は、文章を書くことが苦手な会員が多いのか、なかなか引き受けて頂けませんでした。事務所の良い宣伝になりますので、是非この機会に作品

の掲載をご検討下さい。

次の委員長が未定ですが、幾人か委員が残って下さりました。これからも、全神事協で「KANAGAWA」がより良い会報誌になることを願っています。長い間本当のご協力とご愛読ありがとうございました。これで少しは肩凝りが治ると良いのですが……

7月の行事予定

7月1日	木造特別委員会
2日	建築士事務所のマネジメント支援ツール講習会 会場:神奈川県民ホール6階大会議室
4日	総財務委員会
10日	建築物耐震改修評価特別委員会
12日	JW-CAD講習会(初心者編) 会場:東部総合職業技術校
16日	正副会長会 理事会 合同役員会
17日	指導委員会
19日	JW-CAD講習会(初心者編) 会場:東部総合職業技術校
22日	景観まちづくり特別委員会
24日	景観整備機構と建築士の役割勉強会 会場:神事協会議室
26日	建築トラブル対処法についての研修会 会場:横浜市民文化会館
31日	建築物耐震改修評価特別委員会

会員異動報告

入会

横浜支部

大和小田急建設株式会社横浜支店一級建築士事務所 西川昭次郎
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-6-1
みなとみらいセンタービル14階
TEL.045-650-5350 FAX.045-650-5455

平塚支部

株式会社マルナカー一級建築士事務所 菅家 仁
〒254-0014 平塚市四之宮7-1-27
TEL.0463-79-6161 FAX.0463-79-6160

退会

横浜支部

株式会社創建社 小泉 充司
YN Design 四ツ谷奈津子

大和綾瀬支部

有限会社渡辺建築設計事務所 渡邊 宏

相模原支部

一級建築士事務所三照建築設計事務所 響田 勇
C-MEX DAISEN一級建築士事務所 石井 光國

変更

横浜支部

和総合設計一級建築士事務所（西）
（所在地変更）
〒220-0051 横浜市西区中央2-13-1 ネクスージュ王子601

鎌倉支部

有限会社建都
（所在地・TEL・FAX変更）
〒248-0027 鎌倉市笛田5-45-9
TEL.0467-81-4093 FAX.0467-81-4094

賛助会異動報告

入会

株式会社ヨコソー
〒144-0046 東京都大田区東六郷1-3-10
TEL.03-3736-7751 FAX.03-3736-2209
代表者：佐藤 幹男 担当者：豊田 康男
業種：マンション大規模修繕工事
http://www.yokosoh.co.jp

株式会社損害保険ジャパン
〒231-8422 横浜市中区本町2-12
損保ジャパン横浜ビル4階
TEL.045-661-2626 FAX.045-201-2061
代表者：森谷 高信 担当者：矢ヶ崎 亮
業種：損害保険

<平成25年3月までにご入会の正会員の皆様>

「正会員情報確認調査」へのご協力、誠にありがとうございました。

今後、会員情報に変更が生じた場合は、所属支部の支部長様か神事協事務局までご連絡をお願いいたします。

会 勢

平成25年7月1日現在

支部名	平成24年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	251	251	6	6	0
川 崎	101	106	6	1	5
横 須 賀	54	51	0	2	-2
湘 南 三 浦	18	20	2	1	1
藤 沢	25	24	0	1	-1
鎌 倉	39	38	0	1	-1
茅ヶ崎寒川	19	19	0	0	0
平 塚	23	23	1	1	0
秦 野	18	18	0	0	0
伊 勢 原	8	8	0	0	0
大和綾瀬	21	20	0	0	0
厚 木	35	35	0	1	-1
座 間	12	12	0	0	0
海 老 名	15	15	0	0	0
愛 川	8	8	0	0	0
相 模 原	82	81	1	2	-1
県 西	48	49	1	0	1
合 計	777	778	17	16	1
賛助会員	79	79	4	2	2

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。

編集後記

最後の晩餐会：6月4日に最後の編集委員会が開催されました。編集委員長も次回より交代になります。現、佐藤委員長には6年間のお役目お疲れ様でした。委員長と委員の熱意により継続されたKANAGAWAも夏以降新しくなります。委員会後、関内の中華料理で食事会がされました。写真はその時のものです。会食後家に帰りテレビを観戦するなかPK戦で本田がど真ん中にシュートを決め日本サッカーのブラジル行きが決まりました。幸先よいです。新メンバーでの発展も期待されます。

（川崎支部 恩田 耕爾）



後列中央右が佐藤委員長

本誌掲載記事の内容は執筆者本人の見解において記述・掲載をしております。神事協としての見解ではございませんのでご了承下さい。

かながわ 平成25年7月号（通号381号）

発行 平成25年7月1日（毎月1日発行）
発行人 小林 忠志
発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12
第3不二ビル2F
TEL. 045-228-0755
FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

： 担 当 副 会 長 芝 京子
： 広報情報委員長 佐藤 光良
： 広報情報副委員長 内藤 隆之
： 広報情報委員 恩田 耕爾 北野 義夫
： 小泉 厚 杉崎 雅治
： 高橋 保博 竹尾 秀一
： 新倉 良一
： 坂本 歩美
： 事 務 局

Yokosuka海道ウォーク(約6km)

～黒船のまちから三笠へ～

秦野支部 矢野 高

今回の神事協ウォーキングは5月26日に開催され、京急線馬堀海岸駅を起点に、東京湾に沿ってうみかぜ公園、三笠公園を経て、同線汐入駅前付近まで歩く6kmのコースでした。2009年に参加したウォーキングにて浦賀駅前から観音崎灯台や横須賀美術館を経由して馬堀海岸駅まで歩きましたが、その続きとあったところでしょうか。

当日は天気予報ではやや不安な予報ではあったのですが、神事協きっての晴れ男晴れ女が集結したお陰で(?)初夏の好天の中、無事6kmを楽しく歩きました。

馬堀海岸駅近くの公園で会長の挨拶と準備体操を終えていよいよ出発です。心地よい潮風に吹かれながら、防潮施設が整備された「よこすか海岸通り」を、猿島を右手に眺めつつ北上します。沿道には季節柄釣り客やバーベキューを楽しんでいる方々も多く見られました。

この日は「Yokosuka海道ウォーク」という大規模なウォーキングイベントが同時に開催されており、

休憩に立ち寄った箇所では催しがあったりと賑やかな雰囲気でした。三笠公園内では記念艦「三笠」をバックに記念撮影。「Yokosuka海道ウォーク」のゴールはこちらでしたが、神事協ご一行は横須賀基地の正門の前を抜け、ドブ板通りを経由してショッピングセンター「ショッパーズプラザ横須賀」のビル内の懇親会会場へ…。

懇親会のお店の屋号は「ばすたかん」。イタ飯屋さんかと思いきやお好み焼やもんじゃ焼のお店…何でお好み焼きなのに「パスタ」なの?とアルバイトの女子学生にお店の由来を聞いたところ、「パスタ」＝イタリア語で「小麦粉」、つまり原料は同じ、ということで納得。鉄板を囲みつつ2時間ほど吞んで食べてお開きとなりました。

そのまま帰途につかれた方、同日開催の大さん橋でのtvkのイベントに立ち寄った方もいらっしゃいました。参加された皆様お疲れさまでした。



記念艦「三笠」と記念撮影